

子育てしやすさ 北九州市1位

14年度・政令市部門 東京のNPO調査

男女共同参画に取り組むNPO法人「エガリテ大手前」（東京）が、全国の政令市や中核市を対象に子育て環境について調べた2014年度分の「次世代育成環境ランキング」で、北九州市が政令市部門の総合順位1位となった。調査が始まった05年度以降、1位を逃したのは10年度だけ。小児医療や乳幼児保育の充実ぶりが高く評価された。

エガリテ大手前は、「出産環境」「児童保育」「児童養護」「母子福祉」などを項目について、施設や定員、従業員、医師の数などの統計データを基に独自の基準で点数化。総合順位を付けている。

医療、保育の充実評価

項目別の評価をみると、北九州市は、夜間や休日に対応する医療機関が多いとして、「小児医療」の分野で1位。このほか、児童養護施設が夜間に乳幼児を預かる取り組みなども高く評価され、「乳幼児保育」と「母子福祉」の項目でそれぞれ4位となった。

一方、学童クラブの数や定員が少なくとして「児童保育」は20政令市のうち15位だった。

エガリテ大手前の古久保俊嗣代表は「北九州市は行政と民間が子育てを地域全体で支えようと環境改善に努力している」と指摘。学童クラブについては「一層の充実を期待した。」

（吉武和彦）

西日本新聞 2015年5月15日